

アライドテレシスホールディングス株式会社 年頭所感

2010年1月

アライドテレシスホールディングス株式会社
代表取締役会長 大嶋 章禎

2010年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は世界各国で景気回復に向け金融政策を始め、公共投資等を積極的に行いましたが、引き続き世界経済は厳しい状況で推移いたしました。個人消費は上向いてきているものの一般企業の設備投資は、回復まで時間がかかっております。日本の情報通信産業においても消費、投資、輸出とすべてにおいて大きく低下し、その影響から厳しい経営環境となっております。しかしながら、われわれが提供するネットワークシステムは、情報社会の重要なインフラであり、情報の緊密性やグローバルなコミュニケーションが発揮され、コスト削減にもつながるものであるため、今後中長期的にはまだまだ成長していく産業であるものと考えております。

アライドテレシスグループは、過去3年間利益向上のための施策をしながら、ネットワークの中核となる製品やネットワークマネジメントソフトの開発をし、サポートサービスの充実をしてまいりました。これにより当社は、“総合ネットワーク機器メーカー“から”トータル・ネットワーク・ソリューション・プロバイダー“としての環境を整備いたしました。さらに昨年は、ターゲットとなる市場にダイレクトな営業活動を行い、ネットワーク・ソリューションの提供を積極的に行うことで、顧客との強力なリレーションシップを構築しております。

2010年は当グループの強みを活かし、グローバルでパートナー営業を強化し、日本では地域に密着した営業・サポートサービス体制を拡張することで、今まで以上に売上の向上に力を注ぐ所存でございます。

アライドテレシスグループは、常に、お客様の満足を第一に考え、信頼される企業を目指し、豊かな情報化社会の基盤構築に貢献してまいります。

本年も皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上